

# 住民税 1%町民予算枠制度

## 平成 25 年度実施事業分 わくわくアイデア事業採択一覧

事業の名称	提案者	事業の内容	評価点
子育て支援事業 「子供用品リユース市」	後藤 由希子	成長とともに不用になった子供用品の交換、回収、無料提供。回収ボックスを保育園等に設置する。リユース市は年 4 回程度、開催場所は児童館や子育て支援センター等を検討する。	69.33
知多娘「阿久比ほたる」とのコラボ	新美 正治	「阿久比ほたる」をはじめ知多娘のキャラクターを積極的に町の事業で活用する。来年度は町制施行 60 周年にもあたり、1 年をとおして様々な事業で実施する。長所であるキャラクターの発信力を最大限に活かし、若年層へも町の事業を PR する。	68.44
防犯灯を LED 電球に変更事業	新美 正治	毎年 100 本（防犯灯新設 30 本及び防犯灯器具交換 70 本）に加え、防犯灯球切れのうち 20 本を追加で LED に交換し、更新のペースを速める。電気代や耐用年数でコストダウンを図る。	66.33
災害時協力井戸事業	草木区長 竹内 晃	災害時に雑用水（トイレ、洗濯、清掃用水等）として利用可能な井戸を募集する。災害時に住民が敷地内に入出しし、利用できる井戸であることを表示するプレートを作成する。所有者の承諾を得たうえで、プレートを表示する。	66.11
お雛さまと吊るし飾り展	NPO 法人 もやい 安井 洋子	古いお雛さまや飾られなくなったお雛さまを集め、勤労福祉センターで展示する。より身近で見て、聴いて・感じてもらえる手作りのお雛さま展で、地域の方や町外の方へ PR する。さまざまな団体や人の協力でつくり上げる。	65.89
花・花コンクール	関 香津美	個人の花壇・ガーデニング、公民館や沿道の団体管理の花壇のほか、阿久比らしさのひとつである農村の景観を豊かにする菜の花やコスモスなど休耕田畑への景観作物も対象とし、写真でのコンクールを実施する。花をとおして豊かなまちづくりを。	64.44
災害用備蓄食糧の各行政区での分散備蓄と管理	菅原 豊明	各行政区人口の 5%×1 日 2 食×2 日分＝約 5,400 食を目安とし、これを 3 年間かけて備蓄する（1 年 1,800 食）。以降期限切れ食糧に対して毎年更新していく。軽量コンパクトな長期保存可能保存食で保管スペースの確保を図る。	63.89

(敬称略・評価点の高い順)